

様式

平成 ○年 ○月 ○日

国土交通大臣 殿

押印は不要です

住 所
○○県○○市○○町○○番地
氏名又は名称
○○市長 ○○ ○○

事業者名、氏名(役職含む)
を記載してください

平成30年度旅行環境整備事業費補助金
(地方での消費拡大に向けた旅行環境整備支援事業(多様な宗教・生活習慣への対応力の強化)要望書

平成30年度旅行環境整備事業費補助金(地方での消費拡大に向けた旅行環境整備支援事業(多様な宗教・生活習慣への対応力の強化)について、別紙のとおり関係書類を添えて要望します。

別紙1-1 多様な宗教・生活習慣への対応力の強化事業 対応力強化実施計画(平成30年度-平成32年度)

補助対象事業者名 ○○市

事業実施主体(団体)名	○○市			組織形態	地方公共団体	
代表者氏名	○○市長 ○○ ○○					
事業実施主体 住所及び連絡先	住所	○○県○○市○○町○○番地				
	TEL	000-0000-0000	FAX	000-0000-0000	E-mail	XXX@XXX.lg.jp
	担当者名	産業振興部 観光振興室 主任○○ ○○				
協議会名(※1)				事務局(団体名)		
事務局	住所					
住所及び連絡先	TEL		FAX		E-mail	
	担当者名					
構成員となる個人及び団体	No.	名称	法人形態	所在地		
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

※1 事業実施主体が協議会である場合にあっては、記載してください。

・協議会等の場合、規約等(又はその案)を併せてご提出ください。

補助対象事業者名 ○○市

現状と課題	1. 事業実施内容に関わる地域の現状と課題 ○○教の信者が多い○○地域からの来訪者が近年急速に増えている。 (宿泊統計 ○○地域宿泊者数 平成○○年○千人→平成○○年○千人) これに伴い、飲食店やホテル等において、○○教の来訪者の生活習慣に合わせた地域での対応が必要であるが、現在は、対応可能な事業者が非常に少なく、地域として早急に受入環境の整備が必要となっている。							
	2. 課題に対するこれまでの取組状況 平成○○年に、訪日外国人を対象にアンケートを実施。○○地域からの来訪者は、○○には満足しているが、飲食に対して不満があるという結果が得られた。 そこで、平成○○年に、○○教の来訪者の受入環境整備強化を目的とした受入セミナーを開催(○○協議会主催)。							
実施計画 (複数年)	1. 事業概要 ○○教の来訪者の受入環境整備のため啓発セミナーの開催や、先進地視察を実施する。さらに○○市などが中心となり対応可能な店舗を掲載したマップ、HPの作成を行う。							
	2. 実施内容							
	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事業者の受入に向けた意識啓発を目的としたセミナーの開催 ・飲食店などの参加者を募り、先進地域への視察の実施。 						
	平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事業者の受入に向けた意識啓発を目的とした啓発セミナーの開催 ・○○地域からの来訪者に対して、対応可能な店舗情報の周知のため、店舗情報を掲載した○○語のパンフレットの作成、印刷、地域内の観光事業者への配布 						
平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事業者の受入に向けた意識啓発を目的とした啓発セミナーの開催 ・○○地域からの来訪者に対して、対応可能な店舗情報の周知のため、店舗情報を掲載した○○語のパンフレットの改定、増刷、地域内の観光事業者への配布 							
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・○○市における○○地域からの旅行者の受入環境整備の促進。 ・○○地域からの旅行者の旅行満足度の向上。 ・対応可能店舗が増えることによる○○市内における訪日旅行者の観光消費額の増加。 ・受入環境整備とプロモーションを平行して行うことにより、○○地域からの来訪者数の増加。 							
目標 (定量的指標数値)	指標	現状		事業実施後				
				平成31年度		平成32年度		
			数値	期間	数値	期間	数値	期間
	○○対応可能 飲食店舗数	10(箇所)	平成30年4月	15(箇所)	平成31年4月	20(箇所)	平成32年4月	
	○○対応可能 宿泊施設数	5(箇所)	平成30年4月	7(箇所)	平成31年4月	10(箇所)	平成32年4月	
○○地域からの宿泊者数	1(千人)	平成29年	3(千人)	平成31年	5(千人)	平成32年		
※定量的指標の項目数は問いませんが、必ずご記載ください。								

別紙2 事業計画

補助対象事業者名 〇〇市

(税抜き、単位：円)

補助対象事業の種別 (補助対象経費の区分)	補助対象事業の 名称	補助対象事業の 目的・内容	補助対象設備等	補助対象事業の 着手及び完了予定日	費用総額		補助対象経費	補助金額	備考	
					負担者	負担額				
1	多様な宗教・生活習慣への対応力の強化	啓発事業	〇〇地域からの訪日外国人受入に関わる基礎知識を深めるセミナーの開催	・謝金 ・旅費 ・会場借料 ・印刷製本費	着手予定日 H30.5.1	国	123,150	123,150	41,050	
					完了予定日 H30.5.1	申請者	82,100			
2	多様な宗教・生活習慣への対応力の強化	視察事業	〇〇地域からの訪日外国人受入に関わる先進地視察	・旅費	着手予定日 H30.8.1	国	120,000	120,000	40,000	
					完了予定日 H30.8.2	申請者	80,000			
3					着手予定日	国				
					完了予定日	申請者				
4					着手予定日	国				
					完了予定日	申請者				
5					着手予定日	国				
					完了予定日	申請者				
計							243,150	243,150	81,050	

別紙3 申請内訳書

補助対象事業者名 〇〇市

啓発事業

(税抜、単位:円)

開催 番号	事業内容			補助対象経費						補助金額
	開催月	セミナー等名称	予定参加人数	謝金	旅費	会場借料	印刷製本費	その他経費	合計	
1	H30.5	ムスリム受入セミナー	50	18,150	50,000	5,000	50,000		123,150	41,050
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
小計									123150	41050

視察事業

開催 番号	事業内容			補助対象経費						補助金額
	開催月	視察テーマ	参加人数	旅費	印刷製本費	会場借料	印刷製本費	その他経費	合計	
1	H30.8	ムスリム受入環境視察	20	120,000					120,000	40,000
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
小計									120000	40,000
合計									243,150	81,050

別紙4-1 啓発事業概要

開催番号	1
------	---

補助対象事業者名 ○○市

※1

セミナー等名称	○○受入セミナー				
対象者	○○市内事業者等				
予定参加人数	50 人				
会場名	○○文化ホール	所在地	○○市○○町○○番地		
開催時期	平成 ○○ 年 ○ 月				
開催時間	○○ 時 ○○ 分 ~ ○○ 時 ○○ 分				
参加料の有無	有	無	○	「あり」の場合	円/人
共催するセミナー等の有無	有	○	無	「あり」の場合	内容 ○○インバウンドセミナー
セミナー等の内容	食事等に配慮が必要となる○○教の旅行者の受入に関する基礎知識を深めるためのセミナー				
講師数	2 人				
予定講師	所属	役職	分野別職位※2	氏 名	
	○○大学	教授	大学教授級2	○○ ○○	
	講師選定理由(実績など)				
	・平成○○年○○市インバウンドセミナー講師 研究テーマは、○○国の社会経済等				
	所属	役職	分野別職位※2	氏 名	
	○○協会	理事	大学講師級	○○ ○○	
講師選定理由(実績など)					
・平成○○年○○市インバウンドセミナー講師 ・○○教の生活習慣について造詣が深く、○○市インバウンドアドバイザーを務めている。					
講師選定理由(実績など)					
講師選定理由(実績など)					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・○○教の旅行者の受入に必要な基礎知識の周知 ・飲食店事業者に対して、受入環境の整備を行うことの必要性を伝えることで各店の個別対応を促し、○○教の旅行者に対応できる店舗を増やす。 				
必要経費の内訳(円)					
項目	単位	数量	単価	項目合計(税抜)(円)	備考
謝金 ※2	時間・枚	1.5	7,000	10,500	大学教授級2
	時間・枚	1.5	5,100	7,650	大学講師級
	時間・枚				
旅費 ※3	人	1	25,000	25,000	○○大学教授1名(新幹線 ○○市⇄東京)
	人	1	25,000	25,000	○○協会理事1名(新幹線 ○○市⇄大阪)
	人				
会場借料※4	回	1	5,000	5,000	会場費3,000円、マイク等備品2,000円
印刷製本費※4	枚	50	1,000	50,000	配布レジュメ1部(20枚×50円)×50部
その他※4	式				
合計				123,150	

※1 別紙3の申請内訳書の開催番号に対応させて記入ください。

※2 国の「謝金の標準支払基準」にしたがって記載してください。

※3 国家公務員の旅費規程にしたがって算定した根拠を記載してください。

※4 見積書等の客観的に経費が妥当であると認められる資料をご提出願います。

別紙4-2 視察事業概要

開催番号	1
------	---

補助対象事業者名 ○○市

※1

視察テーマ	△△市における○○教旅行者の受入環境整備状況視察			
視察参加予定者	○○市飲食店事業者、宿泊事業者等			
予定参加人数	25	人	(内事務局参加者)	5 人
参加者の募集方法	○○協会及び○○連合会を通じて、会員に対して参加を呼びかける			
開催時期	平成 ○○ 年 ○ 月			
参加料の有無	有	○	無	「あり」の場合 10,000 円/人
視察目的	△△市における○○教旅行者対応飲食店、宿泊施設の視察を行い、○○市における受入環境整備に活かす。			
視察先(行程)	(1日目)※中型バス貸切 ○○市出発→○○食堂視察→○○ホテル視察→(宿泊) (2日目) △△商工会議所事務局活動ヒアリング→△△市観光課ヒアリング→○○寿司視察→○○市着			
視察先選定理由	視察場予定地		選定理由(先進的な要素)	
	○○食堂		○○教旅行者向けメニュー有、SNSにて情報発信	
	○○ホテル		○○教旅行者向けメニュー有、年間○百人の○○地域からの宿泊者数有	
	△△商工会議所		○○教旅行者対応店舗について、パンフレット作成	
	△△市観光課		○○教旅行者を対象としたアンケート等実施	
期待される効果	・○○教旅行者について実践的な受入環境整備の方法を学ぶことで、視察参加者が飲食メニューの開発に取り組み、○○市における対応店舗数を増やす。			
必要経費の内訳(円)				
項目	交通運賃(税抜)(円)	宿泊料(税抜)(円)	項目合計(税抜)(円)	備考
旅費※2	100,000	200,000	300,000	1日目 出発地○○、経路(種別)陸路、到着地△△ 2日目 出発地△△、経路(種別)陸路、到着地○○
印刷製本費	数量(枚)	単価	項目合計	「視察旅費の考え方」の中の(上記の内、小さい額)を記載してください

※1 別紙3の申請内訳書の開催番号に対応させて記入ください。

※2 国家公務員の旅費規程((参考2)旅費業務に関する標準マニュアル)及び「視察旅費の考え方」にしたがって算定した根拠を記載してください。

視察旅費の考え方

○考え方

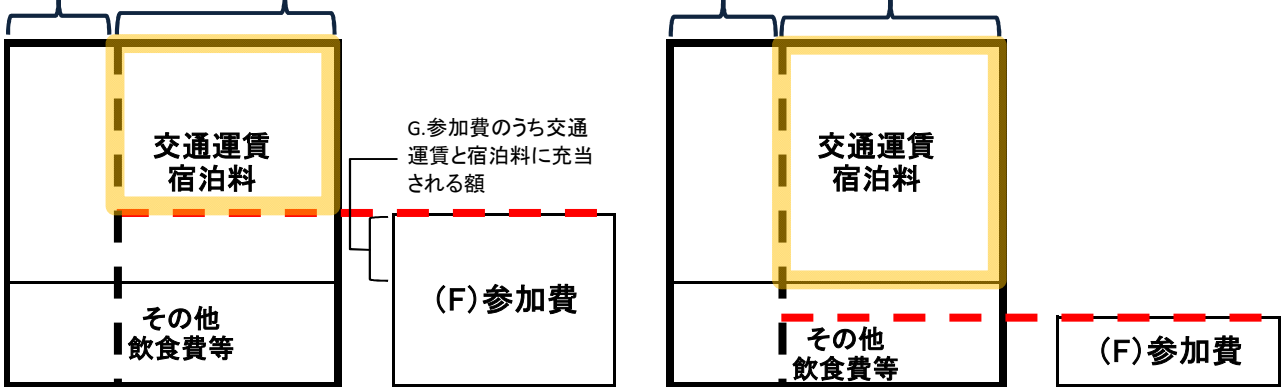
パターン1

パターン2

—— (A)見積額(費用総額)
 ■■■ (H)補助対象経費

B.事務局にかかる費用 C.参加者にかかる費用

B.事務局にかかる費用 C.参加者にかかる費用



- ・(A)見積額(費用総額)のうち、(B)事務局にかかる費用は補助対象外とする。
- ・(B)事務局にかかる費用と(C)参加者にかかる費用が明確に区別できないものについては事務局と参加者を合わせた人数で按分すること。
- ・(C)参加者にかかる費用のうち、交通運賃と宿泊料を(D)旅費規程に基づく額と比較し、額の低い方を(E)補助対象経費の交通運賃、宿泊料とする。
- ・(E)から(G)「参加費のうち交通運賃と宿泊料に充当される額」を引いたものを補助対象経費とする。

○計算式

色つきセルに数値を入力してください。

(税抜、単位:円)

B.事務局にかかる費用	C.参加者にかかる費用	A.見積額(費用総額)
50,000	320,000	370,000

	交通運賃	宿泊料	その他	合計
C.参加者にかかる費用内訳	100,000	200,000	20,000	320,000
D.旅費規程に基づく額	120,000	218,000	/	338,000
E.上記のうち、小さい額	100,000	200,000	/	300,000

F.参加費	参加費/人	人数	合計
	10,000	20	200,000

G.参加費のうち、交通運賃と宿泊料に充当される額	180,000
--------------------------	---------

※マイナスの場合はゼロ

H.補助対象経費	120,000
----------	---------

G・・・FからCのうち「その他」にかかる費用を引いた額

H・・・EからGを引いた額